

入学から卒業までに いくらかかるか

入学前の費用●入学手続き時にかなりの 出費、受験にかかる費用も高額

医歯薬学部を目指す場合は、入学から卒業までにかかなりの出費を覚悟しなければならない。学費以外にも相当の出費が強いられるから、その場になって慌てないためにもあらかじめ詳しく知っておこう。

まず、最初に必要になるのが「受験」にかかる費用だ。志望校が決まり、出願するとすると受験料が必要になる。センター試験は18,000円、国公立大は17,000円(横浜市立大は22,000円、大阪市立大は30,000円)、私立大は大学や学部で異なるが、医学部は50,000円～60,000円、歯学部は30,000円～50,000円、薬学部は35,000円程度。センター試験利用入試は医学部が30,000円～40,000円、歯学部が15,000円～25,000円、薬学部が15,000円～20,000円となっている。ふつうは何校か併願するから、これが案外と高くつく。医学部志望者が、国立大の前期と後期、それに私立大を3校併願すれば、受験料は合わせて200,000円をゆうに超えてしまう。また、実際に受験

となると、志望校が遠方の場合には交通費とか宿泊費も相当額が必要になる。遠隔地を何回も往復したり、何日も宿泊するとなると、受験するだけで相当額が消えてしまう。

晴れて合格となれば、定められた期日までに入学手続きを行わなくてはならないが、手続きには書類などのほか学費が必要になる。学費には入学金、授業料、施設設備費、実験実習費などが含まれている。「入学金」は、国立大が一律282,000円。公立大は多くが設立自治体の出身者とそれ以外で差をつけているが、国立大と同額程度のところから900,000円近くまである。私立大は、医学科が200,000円～2,000,000円、歯学科が300,000円～1,500,000円、薬学部が200,000円～600,000円。「授業料」は、国立大が一律535,800円、公立大は国立大と同額程度。私立大は、医学科が700,000円～4,100,000円、歯学科が1,900,000円～3,800,000円、薬学部は6年制が1,100,000円～2,097,600円、4年制が900,000円～1,620,600円といったところだ。

施設設備費、実験実習費、教育充実費、諸会費などは大学・学部で大きく異なるが、これ

私立大の初年度学費平均額〈2017年度〉

*本誌調べ

